

主題：

キリストのからだとしての召会を建造するために、  
キリストの豊富を享受する

メッセージ 9

心、御父のみこころ、すべてを含むキリスト、召会を建造して神の王国をもたらすこと

聖書：マタイ 5:8, 6:10, 7:21, 13:43, 16:16-19, 28, 23

I. 心の純粋な人たちは幸いです。彼らは神を見るからです——マタイ 5:8：

- A. 心が純粋であるとは、わたしたちの心が単一であり、主ご自身以外に何も求めないことであり、それはキリストが何の妨げもなく、わたしたちの中で成長するためです——13:19-23。
- B. 心が純粋であるとは、目的が単一であり、ただ一つの目標を持って神のみこころを達成し、神に栄光を帰すことです——I コリント 10:31。
- C. もしわたしたちの心が神を追い求める上で純粋であるなら、わたしたちの褒賞は神を見ることです：
  1. 神を見ることは神を得ることに等しいです。それはわたしたちが神格においてではなく、命と性質において神となるためです——II コリント 3:18。
  2. 神を見れば見るほど、ますます自分自身を嫌悪します——ヨブ 42:5-6。
  3. 主を見るなら、この世のものがちりあくたであることがわかります——ピリピ 3:7-8. 参照、エレミヤ 15:19。
  4. 霊的な進歩とは、神の要素がわたしたちの中で増し加わり、わたしたちの内側で神の立場を奪うものが減少することです——I テモテ 4:15, コロサイ 2:19：
    - a. わたしたちを占有するもの、出来事、人が一つでもある限り、わたしたちの心の中に神の立場を奪うものがあります——参照、II テモテ 3:2, 4, マルコ 12:30, 箴 4:23。
    - b. わたしたちは純粋でなければなりません。わたしたちの心は神以外の何によっても占有されるべきではありません——マタイ 13:19-23。
    - c. わたしたちの霊的な進歩は、わたしたちの心がどれくらい神に向けられているかにかかっています——4:17, II コリント 3:16, 参照、列王下 23:25。
    - d. 人は神の言葉の中にいればいるほど、ますます純粋になります——詩 12:6, 119:140, ヨハネ 17:17。

II. わたしたちが来たるべき時代に、天の王国の出現に入るためには、この時代に、わたしたちの御父のみこころを行なわなければなりません——マタイ 7:21-23, 6:10, 12:50, 啓 4:11, ローマ 12:2, エペソ 1:5, 9, 11, 5:17, コロサイ 1:9, 4:12：

- A. 王国は絶対的に神のみこころの事柄であり、完全に神のみこころを成就します。事実、王国は神のみこころです——マタイ 6:10。
- B. 王国の民として、わたしたちが地上にいるのは、御父のみこころを行なうためです——7:21, 12:50。
- C. 御父のみこころを行なうために、わたしたちは狭い門から入り、狭められた道を歩く必要があります——7:13-14：
  1. 狭い門は、古い人、自己、肉、人の観念、すべての栄光を伴うこの世を排除します。神のみこころと一致するものだけが入ることができます。
  2. わたしたちは狭められた道を歩くとき、奥義的で、目に見えない、内側の支配によって制御されず。

D. 王国の民は、御父のみこころが天で行なわれているように、地でも行なわれるように祈る必要があります。これは天の王国を地にもたらすことです——6:10。

### Ⅲ. マタイによる福音書は、すべてを含むキリストを啓示しています——16:16-17 :

A. キリストは天の王です——2:1-2. 21:5 :

1. マタイは、イエスが王であり、旧約で予言されたメシアであることを証明しています——1:1, 17. 2:1-2. 27:11, 37。

2. 天の王は傲慢な輝きをもって来たのではなく、優しさ、へりくだり、柔和をもって来ました——21:5。

B. 主イエスは生ける神の子、キリストです——16:16 :

1. 「キリスト」とは、神の油塗られた方を指し、彼の十字架、復活、昇天、再来を通して、神の定められた御旨を達成する主の使命を語っています——21, 27 節。

2. 「生ける神の子」とは、御父の具体化であり、その霊において究極的に完成され、三一の神の全き表現的となった彼のパーソンを語っています——ヨハネ 14:10-11 前半. I コリント 15:45 後半。

C. キリストは人の子です——マタイ 8:20. 11:19. 13:37. 16:13 :

1. キリストは神の統治を地上にもたらし、神の名を地上で卓越したものとする人です——9:6. 12:8. 13:41. 16:27-28。

2. 天の王国を設立するために、主イエスは勝利を得た人として立ち上がりました。それは、サタンを打ち破り、いかなる困難や反対や攻撃にも耐えることができた人です——4:4. 12:40. 26:64。

D. キリストはバプテスマする方です——3:11 :

1. 主の贖いに基づく聖霊の中での主のバプテスマは、天の王国を開始し、彼の信者たちを天の王国の中にもたらしめます——11 節前半。

2. 主の裁きに基づく火の中での彼のバプテスマは、天の王国を終結させ、未信者たちを火の池に投げ入れます——11 節後半。

E. キリストは命の光であり、死の暗やみの中に輝いています——4:12-16 :

1. 天の王国のためのキリストの務めは、地的な権威をもって始まったのではなく、天的な光をもって始まりました。

2. 主イエスは運動や革命を始めたものではありません。そうではなく、彼は弟子たちを大いなる光としてのご自身に引き付けて、天の王国を設立しました。

F. 人々を召して王国のために彼に従わせるとき、キリストは医者として務めを行ない、ご自身を花嫁として啓示しました——9:9-15 :

1. 彼が医者として来て、いやし、生かしたのは、わたしたちが天の王国の民として再構成されるためです——9-13 節。

2. わたしたちは花嫁としての彼を高く評価する必要があります。それは、わたしたちが彼の臨在の中で生きる享受を持つためです——14-15 節。

G. キリストは新しい衣を作るための縮ませていない布切れです——16 節. ルカ 5:36 :

1. 肉体と成ることから十字架に至るまで、彼は新しい衣を作るための縮ませていない布切れでした。

2. 死と復活を通して、キリストは新しい衣とされ、わたしたちの義として神の御前でわたしたちを覆いますが、それはわたしたちが神によって義とされ、彼に受け入れられるためです——15:22. ガラテヤ 3:27. I コリント 1:30。

H. 個人のキリストは新しいぶどう酒であり、団体のキリストは新鮮な皮袋です——マタイ 9:17 :

1. 新しいぶどう酒は新しい命としてのキリストを表徴します。彼は活力と元気づける強さに満ち、わたしたちを興奮へと駆り立て、そして満足させます。

2. 新鮮な皮袋は団体のキリスト、新しいぶどう酒を保つ外側の入れ物を表徴します——I コリント 12:12。

I. キリストは牧者であり、また収穫の主です——マタイ 9:35-38 :

1. 天の王国を設立する務めにおいて、主イエスは牧者として務めを行ないます——35-36 節。
  2. もしわたしたちが収穫の主としてのキリストのビジョンを見るなら、わたしたちは収穫物のために働き人をせき立てて送り出してください、彼に祈り求めるでしょう——37-38 節。
- J. キリストは罪人の友であり、神の知恵です——11:19 :
1. 罪人の友として、キリストは彼らの問題に同情し、彼らの悲しみを思いやります——19 節前半。
  2. キリストが行なったことは何であれ、神の知恵すなわち神ご自身によってなされました。この知恵は彼の賢い働きによって立証されました——19 節後半. I コリント 1:24, 30。
- K. キリストは安息を与える方です——マタイ 11:28-30 :
1. 主のくびきを負うとは、御父のみこころを取り、御父のみこころに制約されることです——29 節. ヨハネ 4:34. 5:30. 6:38。
  2. 主は常に御父のみこころに満足していたので、いつも心の中に安息を持っていました。今、彼はわたしたちに彼から学ぶように求めます——マタイ 11:28-30。
- L. キリストはヨナにまさる者です——12:39-41. 16:4 :
1. ヨナは、キリストの死と葬りと復活における予告です——12:39-41。
  2. 邪悪で姦淫のユダヤ的で宗教的な世代に対して、彼らが信じるなら救われるという最大のしるしとして、主イエスは死んで復活すること以外に何もされませんでした——16:4。
- M. キリストはパンであり、食卓から落ちるパンくずです——15:21-38 :
1. 神のエコノミーは外側の事柄の問題ではなく、キリストが食物としてわたしたちの中へと来る事柄です——26, 34, 36 節。
  2. わたしたちは食べることでできるキリストをパンとして、食卓から落ちるパンくずでとてさえ食べることによって、彼を取り入れる必要があります——27 節。
- N. 人性におけるキリストは復活した方であり、天においても地においても、いっさいの権威を持っています——28:18-19 :
1. 人性における人の子、また天の王として、復活した後、すべての権威はキリストに与えられました——18 節。
  2. マタイによる福音書が王国を気にかけており、王国が権威を必要としているので、マタイによる福音書において、キリストの復活は諸国民を弟子とするための権威の事柄です——19 節。
- IV. 御父の永遠のみこころは、岩としての子なるキリストの上に召会を建造することです——16:18. エペソ 2:21-22. 4:16 :
- A. マタイ第 16 章 18 節の主の言葉は聖書における最大の預言です、「わたしは……わたしの召会を建てる」。
- B. 天の務めにおいて、昇天したキリストは彼の召会の建造を導き、管理しています——エペソ 1:19-23. 4:8-16。
- C. マタイ第 16 章 18 節の岩は、キリストと、キリストに関する啓示の両方を指しています。これが意味するのは、召会がキリストの上に、またキリストに関する啓示の上に建てられるということです——エペソ 2:19-20。
- D. 神の建造の石として、キリストは土台の石、かしら石、隅の石です。彼の中で、彼を通して、わたしたちは生ける石となって、霊の家に建造されていきます——マタイ 21:42, 44. イザヤ 28:16. ゼカリヤ 3:9. 4:7. I ペテロ 2:4-5。
- E. マタイによる福音書は、天の王国を気にかけていますが、それは権威の事柄です。こうして、この書における召会は支配する王国を表しています——16:18-19. 18:18 :
1. 召会には、天的な支配と統治があり、また天の王国の実際があります。
  2. 召会のいずれの面（宇宙的な面と地方的な面）も、召会が天の王国を表し、縛いたり解いたりする権威を持っていることを示しています——16:19. 18:18。

3. 主イエスは、ハデス [陰府] の門も、彼の召会に勝つことはないと言いました。サタンの暗やみの権威はキリストによって建てられた真の召会に勝つことはできません——16:18 後半。

V. 召会は王国をもたらします。召会の働きは神の王国をもたらすことです——6:10. 12:22-29. 13:43. 16:18, 23. 啓 11:15. 12:10 :

A. 召会が存在するに至ったのは、王国をもたらすためです——マタイ 16:18-19. 18:17-18. 啓 1:6, 9. 11:15 :

1. 召会の責任は、キリストの勝利を永続させ、神の王国をもたらすことです——12:10-11. 11:15。
2. 地上での召会の働きは神の王国をもたらすことです。召会のすべての働きは神の王国の原則によって統制されます。
3. 召会には天のみこころを地にもたらし、それを地上で遂行する責任があります——マタイ 6:10. 7:21. 12:50。

B. 天の支配の下で存在するに至った召会は、天の支配に服従するために、神の敵を対処します——16:18-19. エペソ 6:10-18 :

1. 天の王国が設立されるためには、霊的な戦いを必要とします——マタイ 12:22-29。
2. 召会の責任はキリストが戦った戦いを継続することです。召会は、キリストがサタンに対して行ってきた、勝利を得た働きを継続しなければなりません——ヘブル 2:14. I ヨハネ 3:8 後半. コロサイ 2:15. 詩 149:5-9。

C. 召会は神の王国をもたらすために祈るべきです——マタイ 6:10 :

1. 王国は自動的にやって来るものではありません。祈りがなければ、王国は来ることができません。
2. 召会は天の出口となって、天の権威を地上で表現させなければなりません——16:18-19. 18:17-18。